

耳鼻咽喉科 初期臨床研修プログラム

I. 一般目標 (GIO : General Instructional Objectives)

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁にかかわる負傷または疾病に対処できるよう、基本的な診療能力を身につける。

II. 行動目標 (SBO : Specific Behavioral Objectives)

医療人として必要な基本姿勢・態度を説明し応用する。

到達目標

- ・外来でのめまい診察を通して、めまいの検査方法、めまいの診断に必要な知識を得ること (必須)
- ・喉頭内視鏡検査を実施できること。喉頭・咽頭の所見を把握できること (必須)
- ・耳鼻咽喉科一般疾患の診察を見学し、疾患に対する知識を得ること
- ・耳鼻咽喉科領域の画像所見について知識を得ること

研修方略 (LS : Learning Strategies)

1) 研修期間

選択期間の間に耳鼻咽喉科救急対応を中心とした研修を行う。

2) 研修病院・研修施設

一宮西病院で研修する。

LS1 : 病棟研修

- ・主治医の指導のもと診療にあたり、毎日担当患者の回診を行う。

LS2 : 外来研修

- ・指導医の指導のもと、外来研修を行う。

LS3 : 手術研修

- ・主に助手として手術に参加する。

LS4 : カンファレンス

- ・週1回 (金曜日) のカンファレンスに参加する。

【週間スケジュール例】

		月	火	水	木	金
--	--	---	---	---	---	---

早朝		病棟回診	病棟回診	病棟回診 カンファレンス	病棟回診	病棟回診
午前	9 : 00	外来（水田 Dr） もしくは手術	外来（水田 Dr）	手術	外来（水田 Dr）	手術
午後		手術	外来小手術 検査（水田 Dr）	手術	外来小手術 検査（水田 Dr）	手術
夕刻			スモールレクチャー （随時）			

研修第一週月曜日外来に8：30集合

月・水・金 耳鼻咽喉科手術に参加し、助手を務める

火・木（午前）耳鼻咽喉科外来で外来診察見学

火・木（午後）耳鼻咽喉科外来で検査・処置の見学・補助

空いた時間でスモールレクチャー

持参品：保護ゴーグル

評価(Ev : Evaluation)

1. Communication skill（行動目標）

1) 患者・家族のニーズを把握できる

2. Medical skill（経験目標）

1) 側頭首・鼻・副鼻腔・口腔・咽頭・唾液腺の解剖を理解する

2) 外耳・中耳・内耳の機能について理解する

3) 鼻・副鼻腔の機能を理解する

4) 喉頭・気管・食道の解剖を理解する

5) 扁桃の機能について理解する

6) 摂食・咀嚼・口蓋の生理を理解する

7) 頭頸の解剖と生理を理解する

8) 中耳炎の病態を理解する

9) 難聴の病態を理解する

10) アレルギー性鼻炎の病態を理解する

11) 嗅覚障害の病態を理解する

12) 扁桃病巣の病態を理解する

3. Academic skill

1) 症例提示と討論ができる

2) 医療事故防止および事故への対応を理解する

3) 感染対策を理解して実行できる